

令和 8年度予算見積調書

課室名：社会福祉課
担当名：施設指導・福祉人材担当
内線：3214 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S40	災害派遣福祉チーム体制整備事業費			一般会計	民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	高齢者・障害者災害時支援体制整備費		
事業期間	平成29年度～	根拠法令	災害救助法(第2条第1項、第4条第1項第6号) 災害福祉支援ネットワーク構築推進等事業実施要領			針路 分野施策	01 災害・危機に強い埼玉の構築 0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsゴール SDGsターゲット	3, 11 3-d, 11-5, 11-7	
1 事業概要 大規模災害の発生時に被災地で不足する福祉人材を派遣する「災害派遣福祉チーム」を整備し、高齢者や障害者など配慮を必要とする被災者に適切な支援を行うことにより、被災下の生活による心身状況の悪化等の二次被害を防止する。 (1)災害派遣福祉チーム体制整備事業費 6,000千円				5 事業説明 (1) 事業説明 ア チーム員の登録促進、図上訓練等実践的な研修・訓練の実施 1,400千円 ・県内の高齢者や障害者等の施設や社会福祉士等の団体に働きかけ、支援チーム員の登録を約増やし、災害時のチーム編成を円滑化する。 ・登録のあった支援チーム員に、図上訓練等の実践的な研修・訓練を実施し、被災地の様々なニーズに対応できるよう、介護や福祉のスキルとともに、関係者との連携や調整のためのスキルなどの向上を図る。 イ 活動マニュアルの更新及び関係機関との訓練派遣 1,600千円 ・災害派遣にあたっての諸課題や活動範囲の拡大に伴い盛り込むべき事項を検討の上、「災害派遣福祉チーム活動マニュアル」について保健・医療部門との連携を含めた見直しを行い、更新する。 ・大規模災害時における具体的な連携構築のため、市町村の避難所開設訓練等に参加し、保健・医療部門などとの具体的な連携をすり合わせる。 ウ 災害派遣体制の整備 3,000千円 ・DWA Tの事務局である県社協にコーディネーターを配置し、県と連携の上、各種研修・訓練の企画・調整を行う。 ・支援チーム経験者等から支援チーム調整員を養成し、災害時には、県、県社協及び支援チーム調整員が連携し、支援チームが円滑に活動できるよう調整を行う。 ・災害派遣や訓練の際に使用する資器材を整備する。 (2) 事業計画 ・チーム員登録者数 380人 ・支援チーム調整員養成数 3人 ・埼玉県社会福祉協議会に委託して行う。 (3) 事業効果 高齢者や障害者等に切れ目のない福祉的支援を行うことにより、被災下の生活の継続が可能となるとともに、心身状況の悪化等の二次被害を防ぐことができる。(災害関連死等の減少)						
2 事業主体及び負担区分 【厚生労働省】 生活困窮者自立支援事業費補助金 (国10/10・県0)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円										

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
		国庫支出金						
決定額	6,000	6,000					0	4,750
前年額	1,250	1,250					0	

事業内訳書

事業名	災害派遣福祉チーム体制整備事業費		
単位事業名	災害派遣福祉チーム体制整備事業費	予算額	6,000千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会福祉費補助金	6,000	4,750	【厚生労働省】 生活困窮者自立支援事業費補助金 補助率 10/10
合計	6,000	4,750	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	6,000	4,750	災害派遣福祉チーム体制整備事業委託
合計	6,000	4,750	